

「平成28年度筑波大学大学院体育系修士研究論文集第39号」作成要領

1. 掲載論文

「筑波大学大学院体育系修士研究論文集」（以下、「論文集」と略す）は、体育学専攻論文審査委員会によって「合格」と判定された論文・コーチング特別課題研究及びスポーツ・オリンピック学学位プログラム特定課題研究を掲載する。なお論文集には、スポーツ健康システム・マネジメント専攻、教育研究科・教科教育専攻・保健体育科コースの修士論文も同載する。

2. 書式およびページ数

「3. 書式詳細」に従うこととし、その枚数は、A4版3枚以上4枚以内とする。

原稿の作成にあたっては、添付した抄録見本を参照すること。なお、MS-Wordのひな形を体育学専攻WEB siteよりダウンロードできるようにするので、それを用いて作成することを強く勧める。

3. 書式詳細

1) 用紙

A4版コピー用紙を用い、レーザープリンタで直接印字する。インクジェットプリンタの場合は、にじみのない専用紙に限る。A4版用紙をセットできるプリンタを手配できない場合は、指導教員または下記の担当教員に相談すること。

2) 文字種とその大きさ

- (1)「和文タイトル」「和文サブタイトル」は『明朝体, 18ポイント』の活字を用い、できるだけ1行に納めるよう工夫し、原稿の中央に配置(センタリング)する。
- (2)「氏名(和文)」は、『ゴシック体, 14ポイント』を用い、姓と名の間を半角あけ、センタリングする。
- (3)「専攻(和文)」は、『明朝体, 10ポイント』を用い、センタリングする。
- (4)「指導教員名(和文)」は、『明朝体 10ポイント』を用いて、「指導教員」と「指導教員氏名」の間に半角をあけ、かつ、姓と名の間を半角スペースあけて記し、その全てをセンタリングする。主指導教員(実質の指導教員)と研究指導担当教員が異なる場合は、「主指導教員氏名 研究指導担当教員氏名」の順に全角スペースをあけて記す。
- (5)「欧文タイトル」「欧文サブタイトル」は、『Times, 10point, Bold』を使用し、センタリングする。最初の一文字のみ大文字、後は固有名詞以外小文字とする。
- (6)「欧文氏名」は、『Times, 10.5point, Bold』を使用して、センタリングする。given nameを先に記し、given nameの最初の一文字とFAMILY NAMEは大文字とする。
- (7)「欧文抄録」は、約200語程度までとし、『Times, 10point, Bold』を用い、論文抄録見本に示されたマージンに従って書く。
- (8)「本文」は、『明朝体, 10ポイント』を用い、論文抄録見本の指示に従って二段組みで記載する。太文字等の修飾文字を用いてはならない。ただし節タイトルは『ゴシック体, 10ポイント』とし、【 】ではさむ。
- (9)「図表の説明文」は、和文の場合には、『ゴシック体, 9ポイント』、欧文の場合には、『Arial, 10point』を用いる。図のタイトルは図の下部、表のタイトルは表の上部に記載する。

3) 本文

目的(緒言、はじめに等)、方法(材料と方法等)、結果、考察及び必要に応じて結論の順に記載する。参考文献は巻末に一括にする。参考文献の記載方法については、「体育科学系紀要」に準拠する。

4) 図表

A4の用紙に直接印字するか、白紙または薄青色の方眼紙に黒インクか墨汁で作成したものを原稿の用紙に貼り付ける。コピーしたものは仕上がりの質を落とすので、できるだけオリジナル原稿を用いる。なお感熱記録紙に記録されたものを原図として貼り付ける場合には、アラビア糊の使用を避ける(変色回避のため)。

4. 原稿提出時の要領

- 1) オリジナル原稿を提出すること（コピー不可）。その際、原稿の右上にはページ数を示す番号（1～4 まで）を鉛筆で入れておくこと。
- 2) 配布するクリアポケットに学籍番号、氏名、タイトル、枚数を標記し、クリップでとめた原稿を入れること。

5. 提出期限

平成29年2月2日（木）の16時とする。最終日は混雑が予想され、受付担当教員のミス誘発するので、期限以前の提出を心がけること。

6. 提出先（受付担当教員）

- ・ 体育スポーツ学分野・健康体力学分野
： 渡部厚一（D607 内5902）
- ・ コーチング学分野・コーチング特別課題研究
： 大山卞圭悟（A401 内6321）

7. 一般的注意事項

- ・ 提出前に、欧文抄録を含めた全文について指導教員の確認を受けておくこと。
- ・ 書式に関する修正を求められる場合があるので、筆者本人が担当教員に手渡すこと。
- ・ 論文集の配布は学位記授与式当日の予定である。

（体育学専攻研究促進委員会，平成28年12月）